

荒木詩郎後援会ニュース

平成18年 4月発行 No.16 後援会 会長 秋田 博

連絡先 荒木詩郎事務所 塩浜4-2 ハイタウン塩浜50-601 Tel:047-395-8171

市川市と地元にとどうしても必要な荒木議員

後援会が総会(3/19)=実績前面に荒木再選へ決意かためる

3月19日(日)ハイタウン塩浜内で「荒木詩郎後援会」の「市政報告会」並びに第3回総会が開催され、小雨のバラつくあいにくの天気の中、50人を超すみなさんのご参加をいただきました。

冒頭、挨拶にたった秋田博会長は、「早いもので、初当選からもう3年たった。2期目の選挙は難しいと言われているが、彼の実績をみればわかるように、市川市と地域にとどうしても必要な議員です。来年の4月にはなんとしても荒木の再選をみなさんの力で勝ち取りましょう」と訴えました。

市政報告会で、荒木議員は市川市の現状と3年間の議員としての活動と実績を報告。「私の実績はなにによりも住民のみなさんの要望をもとに、みなさんとともに運動してきた結果です」と強調しました。

後援会総会では、参加者から「ハイタウン57号棟の火災時にはしかるべき市の部署に連絡してもらって直ちに毛布などの救援物資が届き、かつ避難所も確保してもらって大いに助かった」「地域にちゃんとした議員がいるとないでは市の対応が大いに違うことがわかった」などの意見が出されました。最後に荒木再選に向けての活動方針や役員の提案が満場一致で採択されました。総会のあとの懇親会では、会員手作りの料理を堪能し、懇親を深めて再選への決意を固め合いました。



・後援会総会・市政報告会
懇親会でのひとコマ。



荒木詩郎の議員活動3年間の実績(議会的一般質問で実現した主なもの)

退職金のお手盛りを廃止 市川市ではこれまで、職員が退職する3月31日に特別昇給させた上で退職金額を計算するというやり方で、お手盛りの退職金が支給されていましたが、こうした不透明な退職金の支給は市民の理解を得られないと主張し、この制度の廃止を約束させました。(平成17年6月議会一般質問)

危機管理体制の一元化 地震、火災、水害、武力攻撃など、どんな事態にも対応し、市民の安全を守ることができるよう対応策を検討すべきだと主張しました。この結果、平成16年度から消防局にあった「災害対策課」が市民生活部に移行され、さらに平成18年度からはこれが「危機管理課」となってあらゆる危機に一元的に対応できる体制が確立しました。今後はこれを「危機管理部」に格上げを求めています。(平成16年9月議会一般質問)

高齢者対象のIT講習会が実現 IT先進都市韓国の江南区ではお年寄りの方があたりまえのようにパソコンを使いこなしています。この視察体験を例に引きながら「市川市でも住民がインターネットを利用できるような環境整備をするべきである」と主張しました。この結果、平成18年度予算では市内全部の「老人いこいの家」にパソコンが整備され、また高齢者を対象にしたIT教室が開催されることになりました。(平成17年12月議会一般質問)

いざというときに役に立つ防災訓練の実施 どこの地域でもマニュアル通りの防災訓練を実施するのではなく、大きな団地や大規模マンションが立ち並ぶところは隔壁突破訓練を重視するとか、平屋の戸建が多い地域は消火器訓練を重視するなど地域の実情に応じた訓練をと要望。市長は「地域住民による地区拠点での実践的な訓練の実施(平成17年度施政方針)」を約束しこの年から「地区拠点对応訓練」がはじまりました。(平成16年12月議会一般質問)

シルバー人材センター職員の雇用確保 国の法改正による「指定管理者」制度導入により、これまでシルバー人材センターが管理運営をしていた南行徳公民館、南行徳市民談話室、老人いこいの家などが直営に戻されることになり、シルバー人材センターの職員の働く場がなくなってしまうことに。わずかな対価で地域のために生きがいをもって働いているシルバー人材センターの方々の職を奪うべきではないと主張し、非常勤職員として市が引き続き雇用する道が開かれました。(平成17年12月議会一般質問)

<このほか地域の皆さんといっしょに実現できたことがたくさんありますので順次お知らせいたします>

2月市議会定例会での荒木議員の一般質問(要旨)

ハイタウン塩浜団地の環境整備—安全を最優先・地域と整合性のある再整備計画を検討



南行徳駅前前で議会報告を行う荒木議員(3月31日)

平成18年度から3ヵ年かけて行われる、「都市再生機構」の賃貸住宅の周辺整備事業のため、団地内の中央広場が臨時的駐車場として使われることになり、団地内を通行する歩行者の安全確保を第一に実施するよう市川市としても対応することを約束しました。また都市整備機構、第1・第2住宅と3者連携しながら進める外構整備にあたっては、市川市としても、外周道路、内周道路、フェンスなど、整合性のある再整備計画について検討することを約束しました。

塩浜地域に駐車場設置と周辺地域の整備—地域の皆さんの運動を後押しして実現

塩浜地域の違法駐車解消、駐車場不足の解消策として、市道9392号の一部(塩浜小・中学校先)を駐車場にして、周辺の交通安全環境を改善するように、地域の各自治会・管理組合・小中PTAのみなさんの陳情活動に合わせて要望を続けた結果、平成17年度に2000万円の予算がつき、平成18年度から4自治会で作る協議会で管理・運営する駐車場が実現します。

自転車の撤去・保管料の引き下げ—「見直しの時期に来ている・検討する」

「自転車の撤去・保管料4000円は高すぎる。高い金額を払ってわざわざ千鳥町に取りに行くより、少し余計に支払っても新車を買えると思う金額の設定はおかしい」と主張して、引き下げの方向で見直しを検討することを約束させました。